

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	総務文書課	事業No.	41
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
法令・例規等		電子計算機事務管理規則			
		情報セキュリティポリシー			
事業目的	対象	情報資産			
	意図	適切な運用管理			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・住民情報システム、庁内事務システム及びインターネットに関連した各システムの運用管理、パソコン・情報通信機器等の維持管理及び保守業務などを行いました。 ・情報セキュリティ対策の維持に関するシステム等の運用管理業務を行いました。 ・更新期を迎えた基幹系業務システムについてプロポーザルを実施し、令和3年度の更新にむけ事務を進めました。 ・新型コロナウイルス感染症の流行に当たり、分散業務やテレワーク体制の整備に取り組みました。 ・市議会ペーパーレス会議システムの導入に当たり、機種への導入や使用法の指導を実施しました。		システム等保守業務経費			109,440		
			システム機器等使用経費			132,281		
			備品消耗品購入・工事修繕経費			49,124		
			システム利用等負担経費			16,316		
			その他の経費			7,108		
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	
		情報インシデント発生件数	件/年	0	1	0	2	
2年度決算(千円)	予算額	342,830	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	314,269	(国) 社会保障・税番号制度システム整備補助金 (10/10) 12,136千円					
	財源の状況	国庫支出金	54,647	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (10/10) 42,511千円				
		県支出金	0	(そ) 戸籍システム共同利用負担金 16,770千円				
		地方債	0	(そ) メール配信システム共同利用負担金 231千円				
		その他	17,421	(そ) ふるさと寄附金 420千円				
一般財源	242,201							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	13	10	1	92,359	82,413	情報管理費
2	1	2	1	13	10	2	179,550	162,524	住民情報システム管理費
3	1	2	1	13	10	3	44,293	42,841	庁内事務システム管理費
4	1	2	1	13	10	5	9,952	9,891	インターネット情報発信管理費
5	1	2	1	13	10	15	14,562	14,488	情報セキュリティ対策事業費
6	1	2	1	13	10	16	2,114	2,112	電子申請届出システム管理費
7									
振り返り課題認識		庁内からのシステム関係の問い合わせ対応や既存システムの保守など、維持管理業務が増加する中で、基幹系業務システム更新やペーパーレス会議システム導入などの新規事業や新型コロナウイルス感染症対策などの突発事案への対応を図りました。加えて、国が進める自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応が求められています。							
上記の課題解決のための有効策		行政手続きのオンライン化やAI、RPAなどのデジタル技術を活用した行政事務の効率化など、行政のデジタル化を進めるために情報化担当組織の態勢強化が必要と考えます。							
次年度に向けての取り組み		・基幹系業務システムの更新業務を進めます。 ・新型コロナウイルス感染症対策も含め、国や県が推し進める自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応に取り組めます。							